

枕崎市 令和4年11月号 地域学校協働活動だより

インターネットでの枕崎市ホームページの検索方法

枕崎市地域学校だより

ホームページ
QRコード



発行
枕崎市
教育委員会
生涯学習課

枕崎市では学校応援団などのボランティアの方々が、コロナに負けずに子供たちと様々な地域学校協働活動を行っています。今月も市内で行われた活動を紹介します。

～創立150周年記念焼酎の原料に… 待ちに待った芋の収穫～ 枕崎小学校

枕崎小学校では10月4日に3年生2クラス約60人が、学校敷地内に

ある芋畑で「からいも」の収穫を行いました。「からいも探検隊」の授業の一環で、ボランティアの山崎己代治さんと松崎伸男さん、JA南さつま枕崎支所の方に指導していただき、子供たちが手掘りで大きな芋を掘り出しました。

枕崎小学校は来年が創立150周年を迎え、昨年より「150周年カウントダウン枕小酎」を薩摩酒造さんに製造してもらっています。今年掘り出した芋は約400キロの収穫があり、薩摩酒造さんに「美味しい焼酎をつくってください」と芋の贈呈式を行いました。

収穫した芋は「高系（こうけい）14号」、通称「べにさつま」という品種で、甘みのある美味しい焼酎ができるそうです。



学校内の畑で「一所懸命」いも掘り中

立神小学校では読書活動の一環として郷土の民話の伝承を行っており、枕崎市立図書館の職員の方々に来ていただいて、10月12日に4～6年生、14日に1～3年生に郷土の民話の読み聞かせを行いました。

「郷土の民話の伝承」は、立神地区公民館の青少年講座も兼ねていて、地域の子供たちに枕崎の民話を語り継いでほしいということで、毎年行われています。



読み聞かせをする市立図書館の方々

～読書活動で郷土の民話を伝承～ 立神小学校

今年読み聞かせをしたのは「夢宅と鹿筆金山」という民話で、江戸時代に有川夢宅（ありかわむたく）が鹿筆の金山を発見した由来がもとになっているお話です。絵を下にロールさせると画面が展開していく大型の絵巻に、子供たちは興味津々に聞き入っていました。

市立図書館が制作した絵巻による郷土の民話は他にも3話あり、いずれも市立図書館職員の松尾さんが文と絵を描いた労作です。絵巻による民話に興味のある方は、市立図書館にお問い合わせください。

～家庭科で手縫いとミシンの指導～ 立神中学校

「たけのこ」「家庭倫理の会」のボランティアの方々に、4回の授業で延べ13人来ていただいて指導をしてもらいました。

それぞれのクラス2時間ずつの授業でしたが、2年生は「チビトートバッグ」や「クッションカバー」など、1枚の布からミシンで縫い合わせる製品を、3年生はハサミでフェルトを切り抜いて「からふるころりん」や「サッカーボール」など、幼児のおもちゃの製作に取り組みました。

2年生、3年生とも時間に追われながらの製作でしたが、ボランティアの方々に教えてもらいながら、上手に作品を仕上げていました。



ミシンを使ってチビトートバッグを製作

立神小学校では、小学校1～2年生と地域の老人クラブの方々が「水てっぽう」や「竹トンボ」など10種類の「昔の遊び」

体験で交流活動を行いました。立神地区公民館の青少年講座も兼ねており、老人クラブの方々も子供たちと遊ぶのを毎年の楽しみにしています。



こま回しに挑戦して大成功！

～10種類の「昔の遊び」を体験～ 立神小学校

子供たちは、校庭や体育館、教室を回りながら、「こま回し」に挑戦したり、「実皮（みかわ）遊び」を楽しんだりして、10種類全部の遊びを体験しました。

「こま回し」は、竹の棒に付けたひもを木のこまに巻き付けて、思い切り竹の棒を振ってこまを回します。子供たちは、縦長のこまを回すのに苦労していましたが、タイミング良くこまが回った時は、老人クラブの方々と一緒に喜んでいました。

～エコマイバッグの製作で ミシンの指導～ 別府中学校

別府中学校では10月4日と28日に2年生のクラスで、家庭科の「ミシンを上手に使えるようになろう」の授業があり、「家庭倫理の会」の延べ5人のボランティアの方々に来ていただいて、ミシンの指導をしてもらいました。

エコマイバッグはリバーシブルで、表と裏をそれぞれ1枚の布地から縫い合わせる作業から行いました。

生徒たちは、まち針の止め方、仮縫い、ミシンへの糸通しなど、ボランティアの方々に教えてもらいながら、色とりどりのエコマイバッグ作りに挑戦していました。



持ち手を付けて 完成までもう少し

学校応援団ボランティア 募集中！ 詳しくは 生涯学習課まで TEL76-1286